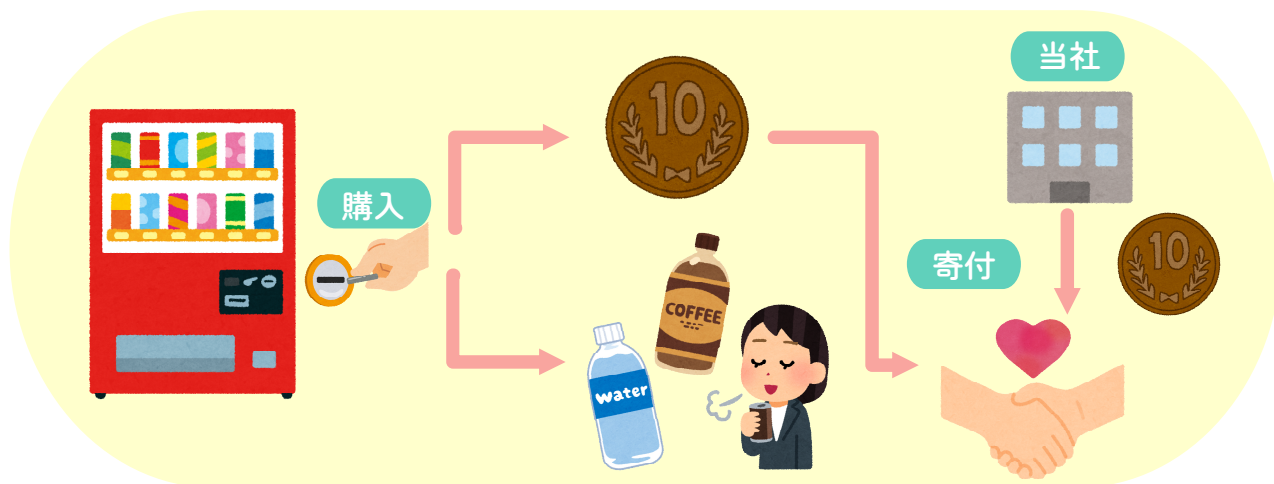




沿線や首都圏の市民団体などへの寄付を目的とする “寄付付き自動販売機”を従業員施設に導入します！



商品購入から寄付までの流れ（イメージ）

阪急阪神ホールディングスグループでは、従業員が職場で参加できる社会貢献活動を推進する取組のひとつとして、従業員が利用する社員食堂や休憩スペースなどに“寄付付き自動販売機”を5月中旬から順次導入します。

当社グループでは、取引先の企業や地域社会、従業員などのステークホルダーとの協働という観点で、さまざまな社会貢献活動を実施しています。本取組は、社員食堂や休憩スペースなどの従業員にとって身近な施設で、社会課題への関心を高め、理解を深めるための情報発信を行い、従業員一人ひとりの課題解決への意欲を刺激することにより、気軽に社会貢献活動に参加できる機会を提供することを目的としています。具体的には、“寄付付き自動販売機”で購入された対象商品（飲料）1本につき10円に加えて、当社から同額を上乘せして寄付する仕組みです。寄付先は、当社グループの主要な事業拠点である阪急阪神沿線や首都圏の市民団体やNPO法人を予定しています。

今後も、地域の活性化をはじめ、SDGsへの取組や社会課題の解決に努めることで、持続可能な社会の実現に向けて積極的に貢献してまいります。

■概要

導入時期：2024年5月中旬より順次（合計で約80台を導入予定）

導入会社：阪急電鉄、阪神電気鉄道、阪急阪神不動産、阪急交通社、阪急阪神エクスプレスほか
※昨年からの阪急阪神ホテルズで実施している取組をグループ各社へと拡大するものです。

寄付先：「地域環境づくり」や「次世代の育成」に取り組む阪急阪神沿線および首都圏の市民団体やNPO法人を予定しています。

以上

【ニュースリリース配付先】青灯クラブ、近畿電鉄記者クラブ